

## 民間施設を活用した一般廃棄物処理体制の構築に係る サウンディング調査（対話）結果の公表

### 1 サウンディング調査の経緯

裾野市では、新たな一般廃棄物処理体制の構築に向けて、民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて民間事業者の意向等を把握する「サウンディング調査」（以下、「調査」という。）を実施したので、調査結果の概要を公表します。

### 2 調査の実施スケジュール

提案書の提出	令和6年9月11日（水）17時まで
対話の実施	令和6年9月17日（火）、18日（水）

### 3 参加者

2者

### 4 対話の概要

- ・ 建設用地については、電気などの利用が可能であり、開発許可基準を満たすことを条件としていました。
- ・ 施設については、焼却方式を基本として、その他に付帯施設を検討する提案がありました。施設規模や処理単価は参加者により異なりました。
- ・ 処理対象の産業廃棄物について、幅広い品目の受入れを想定していました。
- ・ 事業スキームとしては、公民連携方式の提案がありました。
- ・ 処理単価が上昇する要因について、物価変動を反映した単価見直しの提案がありました。
- ・ 行政に期待することは、地元との調整や行政機関内の調整などがありました。

### 5 調査結果を踏まえた今後の方針

新たな一般廃棄物処理体制の方針策定に向け、広域連携（3市2町）による処理、公民連携（既存施設活用案、新施設建設案）による処理等の検討を進めます。